

水道事業の概要

名寄市の水道事業は、昭和 32 年の創設事業から始まり、現在は令和 4 年度を目標年次として、平成 7 年度に第 2 期拡張事業の認可を受け、新たに水源をサンルダムに依存し、拡張事業を継続中であり
ます。

また、平成 28 年 4 月には特別会計として経営していた 3 地区（智恵文中央、智恵文八幡、風連日進）
の簡易水道事業を事業統合し、新たな時代へと踏み出しています。

（沿革）※平成 30 年度決算統計

【事業創設認可年月日】《名寄》 昭和 32 年 3 月
《風連》 昭和 36 年 6 月
【供用開始年月日】《名寄》 昭和 35 年 11 月
《風連》 昭和 36 年 12 月

【計画給水人口】 25,820 人
【現在給水人口】 24,700 人
【給水戸数】 12,635 戸
【浄水場数】 7 浄水場

（緑丘浄水場・風連浄水場・
川西浄水場・瑞穂浄水場・
智恵文中央浄水場・智恵文八幡
浄水場・風連日進地区浄水場）

【管延長】 導水管 4,030m
送水管 800m
配水管 253,010m

【配水能力】 12,080 $\text{m}^3/\text{日}$
【1 日最大配水量】 8,801 $\text{m}^3/\text{日}$
【年間総配水量】 2,873,627 m^3
【年間総有収水量】 2,294,031 m^3
【有収率】 79.83 %



緑丘浄水場



風連浄水場



川西浄水場



瑞穂浄水場



真敷別頭首工



智恵文中央浄水場



智恵文八幡浄水場



風連日進地区浄水場

水道事業経営状況

1. 平成30年度 水道事業決算

(1) 総括事項

平成30年度における水道事業の給水人口は、24,700人で行政区域内人口に対する普及率は90.73%となっており、有収率については、前年度の有収率から0.26%減少し79.83%となっています。

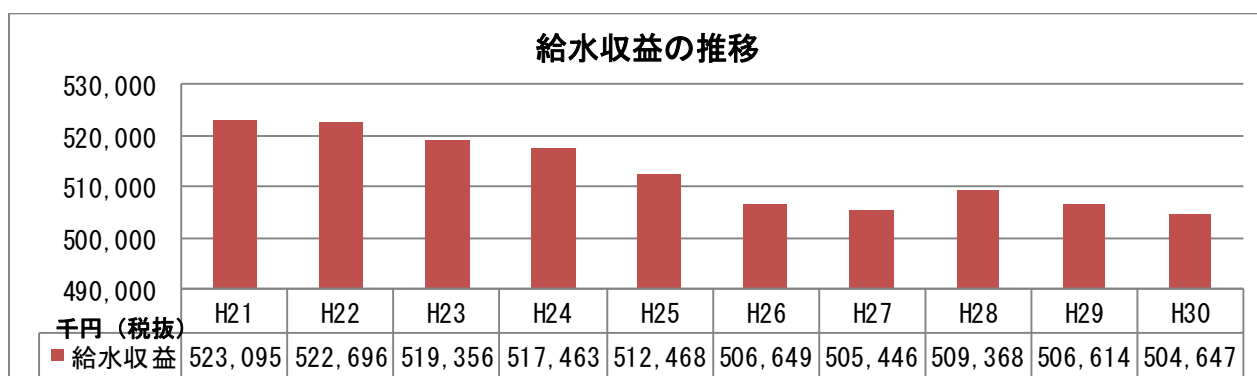
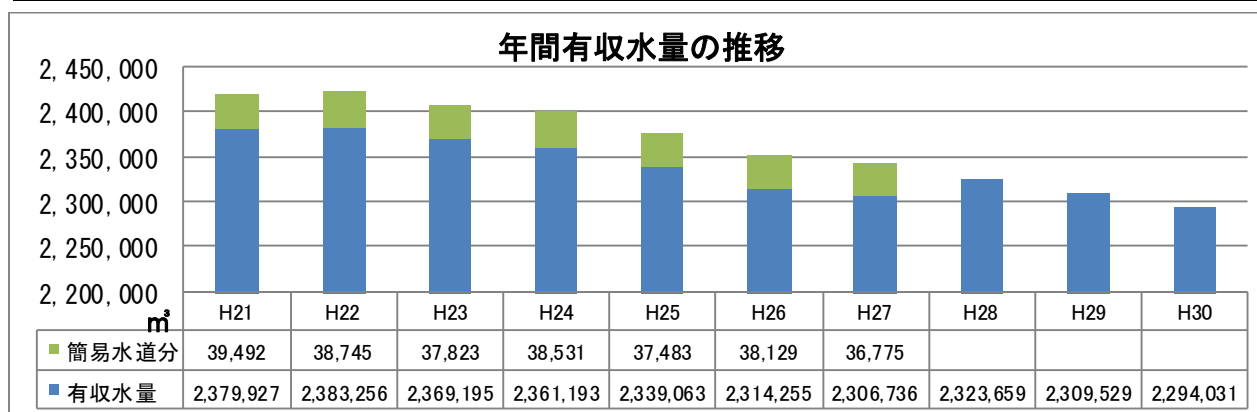
平成30年度決算において、特別利益（退職給付引当金戻入等）として、23,075千円を利益計上しており、収益的収支で26,614千円の純利益を計上し、前年度繰越利益剰余金35,411千円により当年度未処分利益剰余金は62,025千円となりました。昨年同様、積立金等に処分せず未処分利益剰余金として繰越します。

資本的収支では、事業費前年比96,344千円減となり、資本的収支不足額が3.17%減少しています。

水道事業としては、安全安心な水を安定的に供給するために、水源確保と水質管理の強化を図り、経営戦略に基づき経営の健全化に向け施設の効率的な維持管理や計画的な更新と経費の節減に努めてまいります。

【給水状況】

事 項	単位	30年度	29年度	対前年度比較	備考	
行政区域内人口	人	27,224	27,557	△ 333	住民基本台帳3月末人口	
給水区域内人口	人	26,620	26,918	△ 298	給水区域内の3月末人口	
給水人口	人	24,700	24,951	△ 251	住民基本台帳上の給水者数	
普及率	行政区域内	%	90.73	90.54	0.19	
	給水区域内	%	92.79	92.69	0.10	
年間総配水量	m ³	2,873,627	2,883,693	△ 10,066	浄水場からの配水量	
1日平均配水量	m ³	7,873	7,901	△ 28		
1日最大配水量	m ³	8,801	8,714	87		
年間有収水量	m ³	2,294,031	2,309,529	△ 15,498	水道料金の対象となった水量	
有収率	%	79.83	80.09	△ 0.26	年間有収水量/年間総配水量	



(2) 収益的収支〔施設の運転・管理等、水道事業を運営するための経費とその財源〕

収益的収入では、給水人口や有収水量の微減の中、給水収益は前年度比 0.39% 減の 504,647 千円となり、営業収益、営業外収益を併せて 639,910 千円、前年度比 0.12% の増となりました。

収益的支出では、各費目において経費の節減を図ることとしており、営業費用、営業外費用を併せて 636,371 千円となり前年度比 0.78% 減となりました。

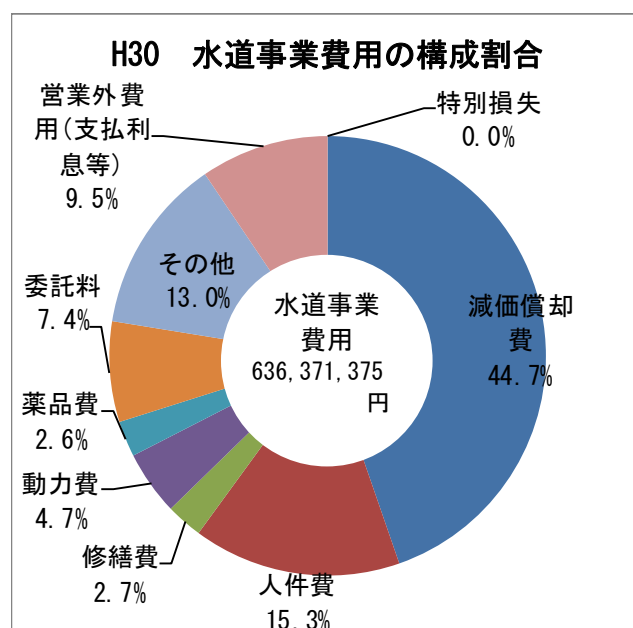
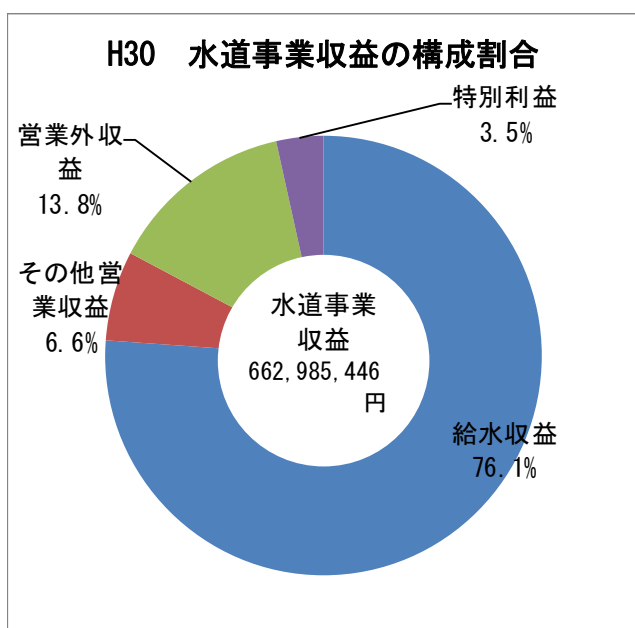
これにより経常的な収支では 3,539 千円のプラスとなっております。

当年度の純損益につきましては、特別利益として 23,075 千円を利益計上しており、26,614 千円の純利益を計上することとなりました。

【収益的収支】

(単位:円[税抜])

科目	H30当初予算	H30決算	H29決算	差額	増減率
水道事業収益	636,171,000	639,910,106	639,156,717	753,389	0.12%
営業収益	548,307,000	548,502,091	548,695,055	△ 192,964	△ 0.04%
うち給水収益	506,002,000	504,646,768	506,614,341	△ 1,967,573	△ 0.39%
営業外収益	87,864,000	91,408,015	90,461,662	946,353	1.05%
水道事業費用	650,058,000	636,371,375	641,402,043	△ 5,030,668	△ 0.78%
営業費用	589,140,000	576,047,173	576,579,750	△ 532,577	△ 0.09%
営業外費用	60,918,000	60,324,202	64,822,293	△ 4,498,091	△ 6.94%
経常損益	△ 13,887,000	3,538,731	△ 2,245,326	5,784,057	257.60%
特別利益	12,925,000	23,075,340	1,841,994	21,233,346	1152.74%
特別損失	1,000	0	0	0	—
当年度純損益	△ 963,000	26,614,071	△ 403,332	27,017,403	6698.55%
前年度繰越利益剰余金	27,969,000	35,410,649	35,813,981	△ 403,332	△ 1.13%
当年度未処分利益剰余金	27,006,000	62,024,720	35,410,649	26,614,071	75.16%



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

(3) 資本的収支〔施設を建設整備するための経費とその財源〕

資本的収支では、資本的収入額 256,620 千円に対して、資本的支出額は 538,447 千円となり、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 281,826 千円は過年度分損益勘定留保資金 212,493 千円、当年度分損益勘定留保資金 49,639 千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 19,694 千円で補填いたしました。

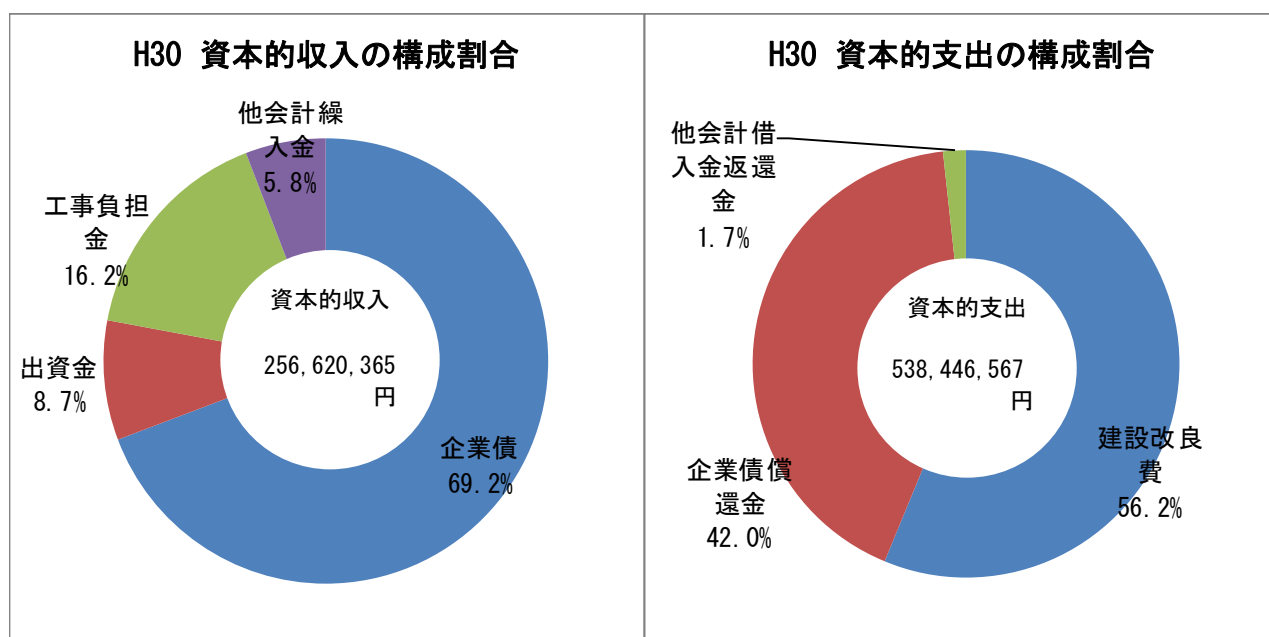
主な整備事業として、配水管網整備及び老朽管更新工事等で 98,405 千円、量水器取替工事で 76,972 千円、浄水場施設整備工事等で 73,375 千円など取り組んでまいりました。

【資本的収支】

(単位:円[税込])

科目	H30当初予算	H30決算	H29決算	差額	増減率
資本的収入	257,117,000	256,620,365	343,736,519	△ 87,116,154	△ 25.34%
企業債	179,600,000	177,700,000	216,100,000	△ 38,400,000	△ 17.77%
出資金	22,275,000	22,275,707	18,234,699	4,041,008	22.16%
工事負担金	41,066,000	41,673,069	35,756,360	5,916,709	16.55%
他会計繰入金	14,176,000	14,971,589	67,034,460	△ 52,062,871	△ 77.67%
国庫補助金	0	0	6,611,000	△ 6,611,000	△ 100.00%
資本的支出	542,744,000	538,446,567	634,790,765	△ 96,344,198	△ 15.18%
建設改良費	307,051,000	302,758,292	405,588,711	△ 102,830,419	△ 25.35%
企業債償還金	226,303,000	226,298,275	222,049,554	4,248,721	1.91%
他会計借入金返還金	9,390,000	9,390,000	7,152,500	2,237,500	31.28%
資本的収支(不足額)	△ 285,627,000	△ 281,826,202	△ 291,054,246	9,228,044	3.17%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

(4) 平成30年度の主な事業

◎水源開発整備負担金《一般会計出資金》 25,667,000円

サンルダム建設工事に対する事業負担金
財源は一般会計出資金と自己財源

◎配水管網整備事業《企業債》 13,975,200円

配水管未整備地区や道路改良工事に合わせた配水管の新設を行う。

【主な工事】

- ・風連商工団地1号線他1配水管網整備工事
- ・道道名寄停車場線配水管網整備工事
- ・南7丁目通配水管網整備工事
- ・道道名寄停車場線配水管網整備実施設計業務委託



(配水管敷設工)

◎老朽管更新事業《企業債》 86,302,800円

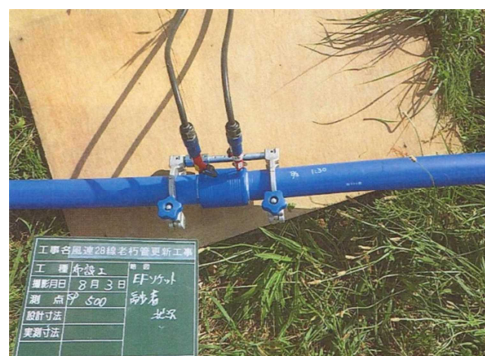
耐用年数が経過した配水管を計画的に更新する。平成30年度末現在、耐用年数(40年)の経過している管延長は83,477m

【主な工事】

- ・西8条通(北4丁目～北1丁目)老朽管更新工事(その1)
- ・西8条通(北4丁目～北1丁目)老朽管更新工事(その2)
- ・南西7条通老朽管更新工事
- ・風連26線老朽管更新工事
- ・風連28線老朽管更新工事
- ・老朽管更新実施設計業務委託



(老朽管敷設工)



(融着状況)

◎浄水場施設改修事業《企業債（一部）》 73,375,200 円

各浄水場の施設整備、水源井の改修など 10 工事

【主な工事】

- ・ 緑丘浄水場 流量計・水質計器更新工事《企業債》
- ・ 緑丘浄水場 No.3 ラグーン池改修工事《企業債》
- ・ 緑丘浄水場 No.4 ラグーン池改修工事《企業債》
- ・ 緑丘浄水場 No.1 導水ポンプ井水位計更新工事《企業債》
- ・ 風連日進浄水場原水濁度計更新工事
- ・ 真勲別頭首工ゲートワイヤーロープ更新工事



(水質計器更新)



(ラグーン池改修)

◎水質検査機器更新事業《企業債》 4,369,680 円

北海道水質管理計画に基づく中核自治体として、近隣市町村を含めた水質検査業務を受託しており、耐用年数が経過した機器を計画的に更新している。

【更新機器】

- ・ 水質検査用冷蔵庫《企業債》 7 台



(水質検査用冷蔵庫)

◎水道量水器取替工事《工事負担金》 76,971,600 円

量水器（水道メータ）は計量法に基づき使用期限が製造から 8 年間と定められていることから、使用期限前に取替工事を行っている。

財源は、工事負担金（下水道事業と個別排水事業から台数按分）と自己財源。

【取替数】

- ・ 名寄地区 1,645 個
- ・ 風連地区 199 個
- ・ 智恵文地区 3 個
- ・ 風連日進地区 12 個
- 合計 1,859 個



(量水器取替)

◎上水道事業固定資産整理業務委託 9,396,000 円

名寄地区配水管、給水管 GIS システム管路図作成と固定資産台帳の調査整理を行った。（3ヶ年計画の2年目）

2. 平成 31 年度予算の概要

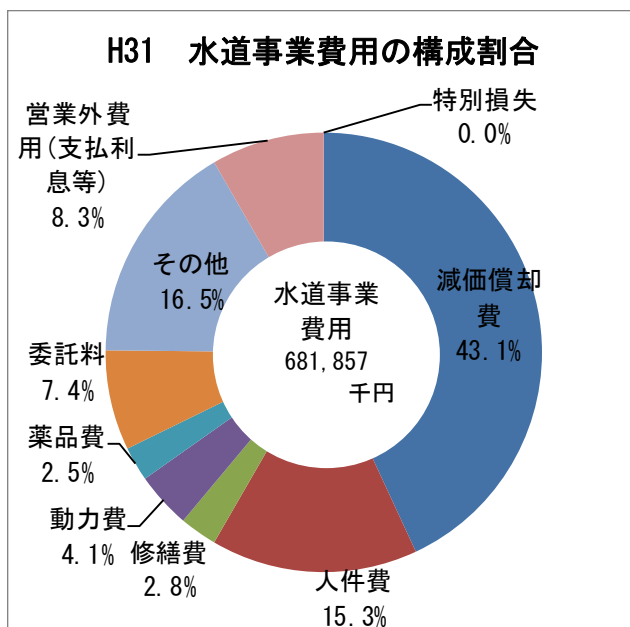
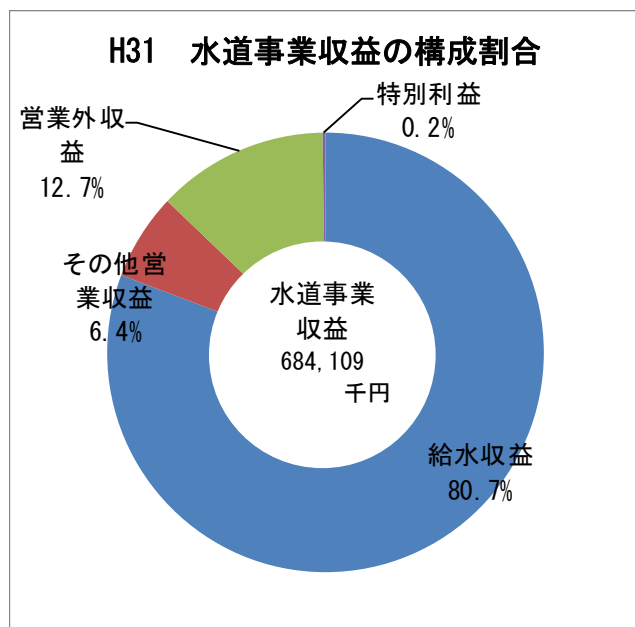
(1) 収益的収支

平成 31 年度については、料金改定による給水収益の増加が見込まれ、費用では退職給付費、減価償却費、資産減耗費等の増に伴う費用の増加はありますが、2,252 千円の純利益を見込んでおります。

【収益的収支】

(単位：千円 [税抜])

科目	H30当初予算	H31予算	H30当初予算と H31予算との差額	増減率
水道事業収益	649,096	684,109	35,013	5.39%
営業収益	548,307	596,004	47,697	8.70%
うち給水収益	506,002	552,360	46,358	9.16%
営業外収益	87,864	86,644	△ 1,220	△ 1.39%
特別利益	12,925	1,461	△ 11,464	△ 88.70%
水道事業費用	650,059	681,857	31,798	4.89%
営業費用	589,140	624,983	35,843	6.08%
営業外費用	60,918	56,873	△ 4,045	△ 6.64%
特別損失	1	1	0	0.00%
当年度純損失	△ 963	2,252	3,215	333.85%
前年度繰越利益剰余金	27,969	38,171	10,202	36.48%
当年度未処分利益剰余金	27,006	40,423	13,417	49.68%



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。
 ※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

(2) 資本的収支

平成31年度の主な事業として、自衛隊名寄駐屯地への配水管布設のため配水管新設実施設計業務委託を行います。また、3カ年計画で行っている上水道事業固定資産整理業務委託が最終年度となります。老朽管更新事業については、平成31年度は事業費を増加させ工事を進め、浄水場施設改修事業については老朽化に伴う計画的な改修を行います。

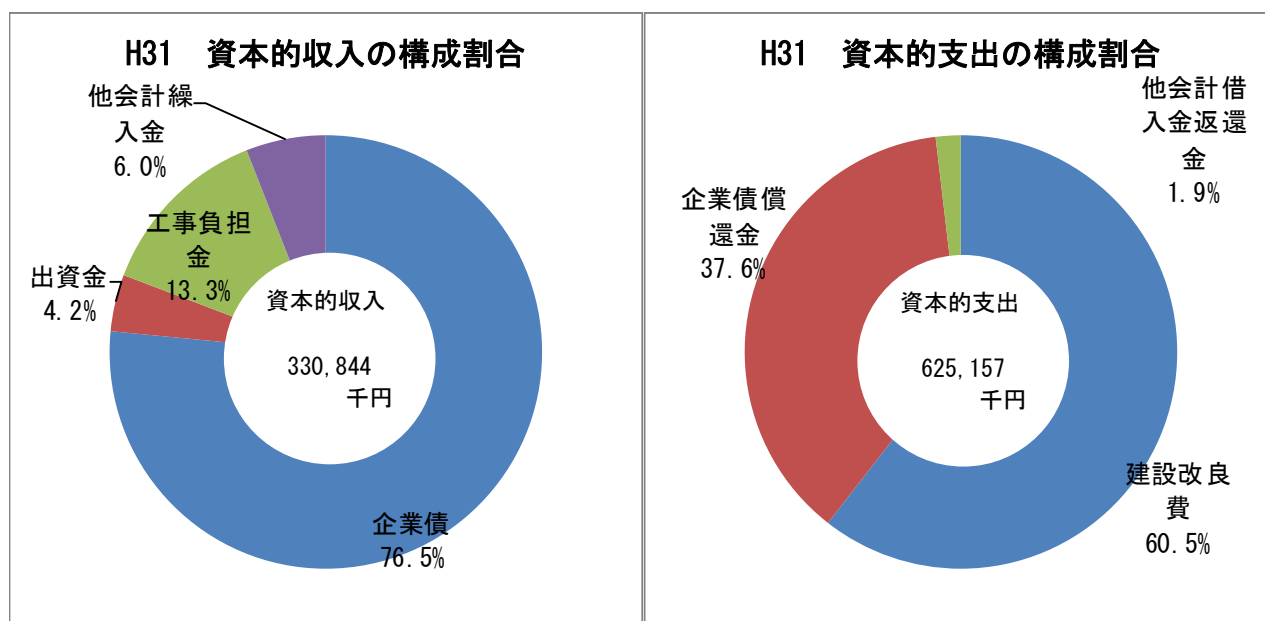
収入については、水源開発整備事業が平成30年度で終了したことにより平成31年度予算では出資金が減少しております。事業費が増加した分については企業債が増加となっておりますが収支不足額は若干増加しております。安全安心な水道サービスを提供するためにも、「施設・設備の老朽化対策」と「企業債の増加の抑制」を検討し、今後の収支計画を元に適正な受益者負担を考えていかなければなりません。

【資本的収支】

(単位:千円[税込])

科目	H30当初予算	H31予算	H30当初予算と H31予算との差額	増減率
資本的収入	257,117	330,844	73,727	28.67%
企業債	179,600	253,200	73,600	40.98%
出資金	22,275	14,039	△ 8,236	△ 36.97%
工事負担金	41,066	43,837	2,771	6.75%
他会計繰入金	14,176	19,768	5,592	39.45%
資本的支出	542,744	625,157	82,413	15.18%
建設改良費	307,051	378,474	71,423	23.26%
企業債償還金	226,303	235,043	8,740	3.86%
他会計借入金返還金	9,390	11,640	2,250	23.96%
資本的収支(不足額)	△ 285,627	△ 294,313	△ 8,686	△ 3.04%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は過年度損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

(3) 平成 31 年度の主な事業

【主な事業】

- ◎上水道第 2 期拡張事業《企業債》 26,730 千円
 - ・自衛隊名寄駐屯地への配水管布設のため配水管新設実施設計業務委託を予定

- ◎配水管網整備事業《企業債》 20,000 千円
 - ・給水区域内配水管網整備工事（φ50～φ100 L=1,000m）を予定

- ◎老朽管更新事業《企業債》 147,660 千円
 - ・風連東大通線老朽管更新工事（HPPEφ100 L=590m）他 5 工事を予定

- ◎水道量水器取替工事《工事負担金》 82,731 千円
 - ・名寄地区 1,600 台、風連地区 151 台、智恵文地区 29 台、風連日進地区 25 台の量水器（水道メータ）交換工事を予定
 - 財源は下水道事業、個別排水事業から工事台数按分による工事負担金と自己財源

- ◎上水道事業固定資産整理業務 7,480 千円
 - ・名寄地区配水管、給水管 GIS システム管路図作成と固定資産台帳の調査整理

- ◎浄水場施設改修事業《企業債（一部）》 62,090 千円
 - ・真勲別頭首工ゲートワイヤーロープ更新工事他、緑丘浄水場 3 工事、風連浄水場 1 工事、智恵文中央浄水場 1 工事、風連日進浄水場 2 工事、水源井改修 1 工事を予定

- ◎水質検査機器更新事業《企業債》 19,548 千円
 - ・パーリアンドトラップガスクロマトグラフ質量分析計の更新を予定